

平成 30 年度以降の名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程（後期課程） 入学試験（心理発達科学専攻）における変更点について（一般入試）

名古屋大学大学院教育発達科学研究科（心理発達科学専攻）では、平成 30 年度以降の博士課程（後期課程）入学試験において、下記の変更を行います。

1. 対象となる入学試験

博士課程（後期課程）一般入試 心理発達科学専攻

2. 入学試験の方法

(ア) 筆記試験は実施しません。学力審査は提出書類及び口述試験によって行います。

(イ) 英語資格・検定試験のスコアシート（TOEFL (iBT、PBT)、TOEIC (S&W を必ず含む)、または IELTS (Academic Module のみ) の成績) を利用した外国語審査を行います。以下のいずれか 1 つのスコアを指定の方法で提出してください（出願締切日から 2 年以内に受検したスコアを有効とします）。出願締切日までに有効なスコアが提出されなかった場合は、外国語審査を受験しなかったものとして取り扱います。なお、心理発達科学専攻を志望する者で、本研究科博士課程（前期課程）心理発達科学専攻修了者および修了見込の者は、スコアを提出する必要はありません。

- ①TOEFL「Official Score Report（公式スコア）」（原本）（注 1）および「Test Taker Score Report（受験者用控えスコア票）」（写し）（注 2）
- ②TOEIC「Official Score Certificate（公式認定証）」（原本）（注 3）
- ③IELTS「Test Report Form（成績証明書）」（原本）（注 4）

注 1 出願締切日までに ETS から名古屋大学に届くよう、所定の手続きを行うこと。詳しくは TOEFL のウェブサイト (<http://www.cieej.or.jp/toefl/>) で確認すること。出願者本人が受け取り、自身で大学に提出した認証書は原則として無効とする。

注 2 出願時に提出すること。

注 3 TOEIC テストならびに TOEIC S&W（スピーキング&ライティング）テストの両方のスコアを含む。出願時に提出すること。

注 4 出願締切日までに IELTS 事務局から名古屋大学大学院教育発達科学研究科（出願書類送付先）に届くよう、所定の手続きを行うこと。詳しくは IELTS のウェブサイト (<http://www.eiken.or.jp/ielts/>) で確認すること。出願者本人が受け取り、自身で大学に提出した認証書は原則として無効とする。

※上記試験は、いずれも実施日や実施会場が限られています。試験結果が送付されるまでの日数を予め考慮し、早めに受験するようにしてください。なお、受験料は自己負担となります。

(ウ) 修士論文またはこれにかわる研究論文の写し（日本語または英語）の提出を求めます（従来は修士論文のみ提出が認められていましたが、これにかわる研究論文の写しも提出を認めます）。

問い合わせ先：

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 入試担当

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

電話 (052) 789-2606/2607